



2014年7月18日 第815号



発行 関西学院大学新聞 編集部 ☎662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155 関西学院大学新学生会館3F 電話：(0798) 51-1181 E-mail: kgpress2009@yahoo.co.jp

6連覇の快挙達成 第37回総合関関戦

第37回総合関関戦は19勝15敗3分で関学が勝利し、史上初の6連覇を達成した。これにより通算成績は20勝16敗となった。快挙達成の感想と関関戦の今後について第37回総合関関戦実行委員長の中田優太郎さん(文・3)に取材した。



6月13日から15日に行われた第37回総合関関戦において、本学は史上初の6連覇を達成した。今年度の会場はアウェイである関西大学キャンパスであった。関大側としては6年ぶりの勝利に向けた絶好の機会であり、学校全体の関関戦に向けた強い一体感が見て取れた。反対に関学側はやはりアウェイという点もあり、特に一般学生の観戦は少なく、応援で関大に一歩遅れをとる形となった。

しかし、試合はここ数年連続勝利を挙げているバレーボール部や昨年度の金星に引き続き勝利を収めたフェンシング部などの活躍により、試合はこのまま関学の圧勝に終わるかに見えたが、最終日に関大は意地を見せる。準硬式野球やハンドボールなどで関大側は連続勝利を収め、最終日のみの本学の戦績は2勝5敗1分。本学は関大に追従を許してしまつた。しかし今年度より前哨戦から本戦に移つたラグビー部の活躍などもあり、最終的な本学の戦績は19勝15敗3分。関大を最後まで振り切り史上初の関関戦6連覇を遂げた。

関関戦を終えて第37回総合関関戦実行委員長の田中優太郎さん(文・3)は「6連覇を達成できたことは体育会学生として誇らしい。今後もこれに慢心することなく、関学の競技レベルを高めていきたい」と語つた。また、田中さんは「関関戦実行委員長として一般の学生にもっと関関戦のことを知ってもらうことが今後の課題である。伝統ある戦いだからこそ関学全体が一つになつて、臨めるよう努めていきたい」と語つた。史上初の6連覇を成し遂

- 2,3面 KGニュース
- 文化総部の活躍
- [連載] シューカツ最前線
- 4,5面 聖徳太子特集
- 6面 連載記事
- 7面 K.G. studio
- 8面 辛口お悩み相談室

Rainbow Free

—もっとカラフルな関学へ—

LGBTという言葉をご存知だろうか。LGBTとはレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーといった性的マイノリティ(少数派)の総称である。多様な

色が輝くレインボーカラーは、LGBTの象徴だ。本学では、セクシュアリティと人権について学ぶ授業の開講や、レインボーウィークの開催など、LGBTへの理解を深める取り組みを積極的に進めている。性的少数者は全人口の約5%といわれている。約20人に1人が当事者ということになる。もちろん、本学の学生や教員にも当てはまる。以下は、本学の卒業生である性別違和(今年5月、性同一性障害から名称変更)の学生が、在学中に記した手記である。

「私は、第一に女性用のトイレは使いたくありませんでしたし、仮に女性用を使つたとしても外見上女性に見えないのでトラブルが起りかねないと感じていました。かといつて男性用を使うと、カミングアウトして知らない人に見つかる厄介だと思つていました。その結果、トイレをかなり我慢したり、学校の外でトイレを探したりしていました。しかし身体障害者用等、男女別の無いトイレの場所を教えてもらい、使用を許可して頂き、校内でのトイレの悩みが解消しました。そして授業では、名前(姓ではなく、名)を呼ばれることがあり、私の以前の名は女性的なものであったので、見た目とのギャップで精神的に苦痛を感じました。そこで、通称名の使用を許可して頂けるよう相談しました。そして、卒業までに戸籍の名を変更するという前提ではありますが学生証や成績表、その他学校内で使うものは通称名に変えて頂くことができ、大学生活を送る際の苦痛が大きく解消されました。この学生のように、性的少数者は日常生活の様々な場面で苦痛を感じている。学校全体でサポートしていく環境づくりが必要である。

身近な友人の顔を20人思い浮かべてみてほしい。その中に自分の性について悩み、苦しんでいる人がいるかもしれない。「ホモ」や「オカマ」、「レズ」といった心無い言葉や冗談で、知らぬ間に誰かを傷つけてはいないだろうか。他人事ではなく、身近な問題として受け止め、当事者に、「この人なら自分の性を打ち明けられる」と思ってもらえるような言動を、日々心がけてほしい。

「私は、さすが食べられません」。この一文には、文法上正しくないといわれる表現が含まれている。それはもちろん「食べられません」という箇所であり、「食べられません」が正しい表現とされている。この表現は、ら抜き言葉と呼ばれる。ら抜き言葉は日本語の乱れだとする人が大多数存在するのは承知の上で、私は彼らに異を唱えたい。ら抜き言葉は新しい日本語であり、生まれるべくして生まれたのだ、と。言葉は流動性を持つ。必要に応じて変化していくことは必然なのだ。もし、伝統や慣習に基づいて、現在の言葉遣いを非難することが正しい行いならば、男性でありながら女性の書くかな文字で日記を書いた歌人紀貫之も、現在の正しいとされる言葉遣いに對して「あな、あさまし」と嘆かなくてはならなくなる。伝統や慣習にのみ固執する存在は、文化のより良い発展の障壁となりうる。なぜなら、文化の発展は柔軟な発想を携えた者によって達成されるからである。それらを踏まえた上で、新しさを求めることが大事なのだ。孔子の言葉を借りれば「温故知新」である。ら抜き言葉も単なる日本語の乱れではなく、日本語文化の進化と考えると、そう目くじらを立てる必要はないと感じるのは私だけだろうか。



第3回

シミュレーション/カツ最前線

夏休みの過ごし方

第3回となる今回は、これまで紹介してきた「進路を考えるにあたっての『5つのステップ』」から少し離れて、就活生に向けた夏休みの過ごし方

を紹介する。就活生の夏休みの過ごし方といっても、インターシップに参加する人、部活動に打ち込む人、留学する人などによって様々

だが、それらの活動と並行して、企業への就職を考えている人は早めに準備しておいた方がよい事がある。大多数の企業の採用選考で行われる筆記試験の対策だ。

筆記試験には様々なタイプのものがあるが、近年最も多く実施されているのがSPIなどの適性検査である。これを聞いて「適性検査ってSPIだけじゃないの？」と疑問に思った方も多いのではないだろうか。実は、適性検査は

代表的なSPI以外にも様々な種類のものがある。特に代表的なものとして、玉手箱やTGIEW EBなどWeb形式で実施される適性検査が挙げられる。「どれも似たような内容じゃないの？」という種類対策しておけば、応用出来るのでは？」と考える人もいるかもしれないが、企業によって使用される適性検査は違い、適性検査の種類によって

筆記試験の対策を

内容が大きく異なるため、種類に応じた対策を講じなければ、採用選考の初期段階でつまづくことになる。まずは、適性検査として多くの企業が採用しているSPIの勉強からはじめてみて、自分の受ける企業や業界に合わせて徐々に対策していくことをお勧めする。

また、試験の種類によっても異なるが、適性検査は複数の受検方式に分類されている。例えばSPIにはテストセンター・Webテスト・ペーパーテストの3つの受検方式がある。テストセンターとは、専用の会場に設置されているPCで受検する受検方式のことだ。この方式を採用している複数の企業で受検結果を利用することが出来る、いわば大学入試のセンター試験のようなものだ。一方、Webテストとは自宅PCで受検するテスト方式で、複数利用することは出来ない。私立

入試や国公立の二次試験の形式を思い浮かべると理解しやすいのではないだろうか。このあたりは、就活の基礎知識として押さえておきたい。「印象はともいいいのに、筆記試験の点数が低い」、面接選考に進むことが出来ない学生が多くいるのは非常に残念なことだ。この声は企業側から聞かれる。また、これらの筆記試験は、対策を行

えば解ける問題がほとんどである為、企業はしっかり準備をしている学生かどうかという事も筆記試験を通して確認している。万全の対策をして、面接選考に進みたいものだ。一方で、夏休みは自分を見つめ直し、磨きをかけることの出来る絶好の機会でもある。今、取り組んでいることに全力を注いでほしい。

論説 日進月歩

『集団的自衛権行使は最良の選択か』

連日報道されている「集団的自衛権」の問題。賛成、反対も含め様々な場面で議論が盛んに行われているが、政府は今国会で集団的自衛権における憲法解釈の変更を断行した。あまりに急な話であり、「政府や自民党が国民の議論や声を軽視した」と捉えられても仕方がない。

そもそも、この「集団的自衛権」というものをどれだけの人達が理解することが出来るのか。集団的自衛権を簡単に説明すれば、自国と密接な関係にある他国が攻撃を受けた際に、仮に自国に被害がなかったとしても他国を助けるために反撃する権利のことを指す。この「密接な関係」というのも単なる同盟関係に留まるものではなく、定義自体も曖昧なものとなっている。

現行憲法では、集団的自衛権の行使を禁じている。一方で日本は米国と安全保障条約（2か国が互いに安全にいられるために守りあう条約）を結び同盟関係にあるが、憲法9条の観点から米国に対して

集団的自衛権を行使できないため、代わりに沖縄などで米軍が基地を使うことが出来るように便宜を図っている。このように日本は、憲法9条を護持することで「平和国家」としての歩みを続けており、自衛隊が直接戦闘に関わるような事態もこれまで発生していない。

ただ、現行憲法が制定されてからの数十年間で、世界を取り巻く情勢は大きく変わった。特に近年では、中国が海洋進出に本格的に乗り出しており、日本を始め近隣諸国には緊張が走っている。最近では飛行中の自衛隊機に中国機が異常接近するという事態も起こっており、一触即発の状態が続いている。

こういった状況の中で、私たち日本人が大切にしていた「平和」というものを守るために、「集団的自衛権」という「刀」を抜いて対応するしかなく、そうすることで米国や周辺諸国にも相応の安心感や信頼関係を与えることが出来るという論調も出てき

た。巷でささやかれている「積極的平和主義」という考え方は、憲法そのものを変えて今の自衛隊の持つ制限を大幅に緩和しようという意見もある。いずれも今の国際情勢、とりわけ東シナ海における現状を考えたならば決して無視することは出来ない考えである。

ただ、一方で集団的自衛権を容認することで問題が出てくるのも事実である。今回政府が提案している案によれば、これまで「非戦闘地域」に限ってきた自衛隊の活動範囲を拡大し、活動が禁止されていた戦闘地域での支援活動も可能となる。そもそも、「戦闘地域」と「非戦闘地域」の線引き自体が従来から曖昧なものであったが、今回の政府案では「支援する部隊が戦闘行為をしている」等の新たな4つの基準を設け、それら全てに該当する場合を除いて、自衛隊が他国の軍隊に後方支援活動を行えるようになる。つまりその分自衛隊が危険な事態に巻き込まれる可能性も

増えるということだ。このように集団的自衛権をめぐっては多くの曖昧な点が残っている。自衛隊が戦闘に巻き込まれる、そして日本が戦争に巻き込まれるという不安を国民が拭拭したとは言えないであろう。国民の世論を二分する大きな問題なだけに、本来ならば慎重かつ丁寧な議論が必要となってくる。

しかし、政府・自民党は集団的自衛権容認を急いだ。さらには憲法改正から、憲法の解釈変更へと手段を変えている点も気になる。真正面に「憲法改正」を唱えることによつて生じる反論をかわすための「逃げ」のように映る。

ここで考えてもらいたい。憲法改正は確かにハードルの高い議論かもしれない。だが国民としても真剣に考えなくてはならないというきつかけになるのも事実である。

本来、民主国家は互いの意見をぶつけ合って、その議論の中から最良と言える選択肢を導いていくものである。集団的自衛権について、これま

で多くの著名人や市民達が真剣に考え、議論してきた事は意味のあることである。まさに民主国家のあるべき姿といえるだろう。今の政権の姿はその民主国家の根幹すら軽視し、反対意見を黙殺し、暴走している。これでは日本は「民主国家」とは言えないであろう。

確かに日本を取り巻く国際情勢は緊迫している。だが、国民の議論や声を無視し、民主国家の根幹を軽視してまで持つべき「切り札」なのかどうか、一度立ち止まって考え直すべきではないか。

政府は世論調査のデータ等を背景に強気の姿勢であるようだが、そのデータが国民の総意というわけではあるまい。もしそうだとすれば、ここまで大きな議論は起こらないはずである。国民も真剣に考えているのだ。

心理学の実験に参加しよう!

関西学院大学応用心理科学研究センターでは、心理学実験に参加してくれる学生を募集しています。

心理学実験参加登録システムに今すぐ登録!

▶▶▶ <http://bit.ly/kgCAPS>

謝金▶1時間で1000円前後

KG CAPS 関西学院大学 応用心理科学研究センター

CAPS KG 検索



企業の採用選考で行われる筆記試験ってSPIだけじゃないの…

個別の対策って必要なのかな…

就活生 Aくん

いなかった!?

の謎を追うー



Fig. 10: 960-1279 AD Song dynasty Foot-binding begins to be practiced by aristocratic women
Fig. 11: 1271-1368 AD Yuan dynasty China falls under Mongol rule
Fig. 12: 1368-1644 AD Ming dynasty restoration of native rule Yuan customs are abolished

2011年に1000人を対象に行われたインターネット調査において、大河ドラマの「主役」として描いてほしい偉人の第1位に選ばれた聖徳太子。

しかし、近年聖徳太子は実在しなかったという説が存在することを知らず知らずのうちに、抜群の知名度の高さを誇りながら、その実在すらも疑われる。そんな謎多き聖徳太子の存在に迫ってみたい。

そもそも、聖徳太子はどのような人物だったのか。そこからまずは紹介していき

太子を語る前にまず述べておかないといけないのは、聖徳太子という名称が後世の呼称であり、当時は厩戸王もしくは厩戸皇子と呼ばれていたということだ。当時から聖徳太子と呼ばれていたわけではなかったのである。

太子は574年に生まれた。両親は皇族であり、当時の権力者である蘇我氏とは血縁関係があった。593年に推古天皇の摂政となり、大臣である蘇我馬子と協力して政治を行った。

そして、603年に有名な冠位十二階を制定する。これによって、有能な人材を役人に登用することが可能になる。また、翌604年には日本初の成文法である憲法十七条を定める。憲法と名がついているが、今日の憲法とは違い、和の尊重や天皇への服従など役人や豪族の心構えを説いたものである。また、太子は仏教を深く信仰したことも有名であ

Who is 聖徳太子?

てはいけないのが、太子の持つ様々な伝説である。その中で最も有名なのは、10人の話を同時に聞くことができたというものである。こんなことが本当に可能なのか。

ここで、今回のテーマである聖徳太子が実在していたかどうかにか話を移したい。太子が仮に架空の人物だとすれば、その目的はどこにあるのだろうか。先ほど述べた伝説は、まるで太子を神格化しているようでもある。なぜ太子を神格化したのかという点については、この後の取材で明らかにしていく。

今回は、本学で古代史を研究している中西康裕先生と、仏教史を研究している園田女子大学教授大江篤先生、学生立場から関西学院大学考古学研究会の部員の方に取材を行い、この謎に迫った。

日本史には未だ解き明かされていない様々な謎が数多く存在する。今回の特集を読んだ、少しでも日本史の奥の深さ、おもしろさを感じ取ってもらえたら嬉しい。

「聖徳太子」は、潤飾の産物だった!?

文学部教授 中西 康裕 先生

聖徳太子は果たして存在していたのか? その謎に迫るべく、我々は文学部文化歴史学科教授である中西康裕先生の元を訪ねた。中西先生は奈良時代に書かれた日本書紀二巻目の国史である「続日本紀」等の史料論を専門としており、近年では奈良時代の妖怪の研究や、続日本紀と奈良朝の政変についての研究を行っている古代史の専門家である。

中西先生は聖徳太子の話を語るにあたって、飛鳥時代という時代区分について「美術史的な分け方であり、外来思想を中心に、文化や生活様式が大きく変わった時代である」と解説し、「日本では用水技術の発達により稲作の耕作面積が広がり、経済的に発展していた時代であった。また、宗教面でも仏教が優勢化していく時代であり、その点からも日本の歴史の転換点の一つと言える」と語った。

次に、我々が聖徳太子の存在の有無について尋ねると「聖徳太子」という固有名称は、当時なかった」という答えであった。これについて中西先生は、「厩戸皇子」という人物は実在したとされる」とした上で、聖徳太子という名前が存在していなかったとする理由について「聖徳」と「太子」の2点から説明できると話した。それによると、「聖徳」というのは響きが立派な言葉であり、本来はその人物が亡くなった後に付けられる称号である。また「太子」というのは、本来皇太子に使われる言葉であるが、皇太子という制度が日本で生まれたのは7世紀後半のため、厩戸皇子が存在していたとされる時代において「太子」という表現が

使われることはありえない事となる。以上の点から「聖徳太子」という固有名称は飛鳥時代には存在していなかったという事であると、中西先生は解説した。

実際に歴史書を開いてみても「聖徳太子」という表記はないことから、聖徳太子という人物は存在しておらず、十七条の憲法等に代表される功績も、聖徳太子のものではないという説を唱える学者も少なくないという。中西先生はそれについて「史料の中で潤飾があった可能性もある」と語った。潤飾とは、実際にあった出来事について言葉を換えたり、付け足したりすることを指す。中西先生によると、十七条憲法の中に「国司」という言葉が出てくるが、国司は奈良時代に作られた役人の呼称であり、この時代には存在しない言葉であるため、十七条憲法は潤飾されたものではないかという点である。

このような事などから、学会の中でもこれらの施策が本当にあったかどうかについては意見が分かれており、中西先生も「すべてが本当だとは受け止めるべきではない」と話した。一方で、十七条憲法や冠位十二階等の政策によって古代国家の枠組みを作るためのスタートが切れ、豪族から官僚の時代へと切り替

わっていく過渡期が飛鳥時代であり、これらの政策が嘘であった場合、いつから古代の政治体系が作られたかが不明になることになる。中西先生は指摘した。

飛鳥時代におけるもう一つの特徴として「仏教信仰の普及」が挙げられる。聖徳太子が仏教伝来に尽力したとされているが、実際には蘇我氏の力も大きかった。だが、一般的には「仏教の普及」といえば聖徳太子の名前が真っ先に上がるのなぜなのだろうか? これについて中西先生は「実際には蘇我氏を中心となつて仏教は普及していったが、蘇我氏は大化の改新では悪役として滅びており、後の人々にとってはあまり印象の良くない人物となつてしまつた。そのため厩戸皇子にその功績を付けて英雄扱いすることによって、信仰上も都合のいいようにしたのでないか」と語った。

最後に、まとめとして中西先生は「宮廷仏教は厩戸皇子の時代に広まっていたが、仏教は当時まだメジャーな宗教だったわけではなく、庶民に普及したのは大仏建立後とされている」と、これだけでは偉人として扱うのは難しく、千代国家システムを作り変えていた時期でもあったので、それらの施策も厩戸皇子の功績となつたのではないかと考察を述べた。

研究の発達した現代においても、聖徳太子については謎が多い。その全容が見えるには、まだまだ多くの研究が必要となってくるのかもしれない。

研究の発達した現代においても、聖徳太子については謎が多い。その全容が見えるには、まだまだ多くの研究が必要となってくるのかもしれない。

特集 太古の謎に迫る! 聖徳太子は —聖徳太子存在

中西先生に続いて取材したのは、園田女子大学の教授で、非常勤講師として本学でも教壇に立つ大江篤先生だ。大江先生は関学出身で、古代史の中で神や霊魂などを専門としている。



「死後まもなく神格化された聖徳太子」

園田女子大学教授 大江 篤 先生

始めに、聖徳太子の存在の有無について尋ねると「聖徳太子は実在した」という

答えてあった。その理由について大江先生は「古代の人物は多くの場合、人物像がはっきりしないことが多いが、聖徳太子についてははっきりとした記録が残っている」と述べた。

また、安倍晴明など当人の死後に神格化された歴史上の人物は多いが聖徳太子については早い時期から信仰の対象であったという。大江先生によると「諡」という天皇などの貴人に生前の功績を称え、当人の死後送られる名があるが、聖徳太子は天皇が諡を受けるという風習が定着する前から諡を与えられていたのだという。

そして、大江先生は聖徳太子の実在を示す物証として法隆寺金堂釈迦三尊像の背面に記されている文章を挙げた。そこには像の作られた所以が記されており、聖徳太子をモデルにしているとある。ここ

から釈迦と聖徳太子が同一視されていたことが分かる。聖徳太子が存在しないと主張する学者は、書かれた文献資料が後世の物であると主張するが、この像に書かれた文については聖徳太子の死後間もなく書かれたものということが科学的にも証明されている。

大江先生は「文献資料に潤飾が存在することは事実だが、だからといって存在自体を否定するのは強引なのではないか」と考察を述べた。

「時代によって変わった、聖徳太子の捉え方」

～考古学研究会対談～

聖徳太子は果たして実在していたのか？我々のその疑問に、学生の立場から今回切り込んだのは「考古学研究会」の皆さんだ。考古学研究会は考古学を中心に幅広く勉強している研究会で、月に1回程度勉強会を開催し、それぞれが興味を持ったことについて発表するといった活動を行っている。今回は本来、文献史学の範囲であり考古学の扱うテーマではないにもかかわらず、取材に協力していただき、

聖徳太子存在の是非について議論していただいた。まず初めに司会を担当した西島千晶さん(文・3)が聖徳太子の簡単なプロフィールについて触れ、621年(622年の説もある)に没してから、720年に書かれた日本書紀に「厩戸皇子」という名前が出てくるまでに90年間のブランクがあると指摘した。

その後部長の齋藤墨さん(文・3)と江口真理絵さん(文・3)が聖徳太子が「摂政」という役職に就いていた点に触れ、そもそも摂政という役職が存在していたのかという疑問を提起した。

またここで齋藤さん達は、聖徳太子の存在に對して虚構説を唱えている大山誠一氏の説についても触れた。それによると、日本書紀をはじめとする史料は信憑性も低く、聖徳太子という人物は実在して

いなかったという事である。これに對して、木村さん(文・3)は「もし、日本書紀の信憑性が低いというのなら、そこに書かれている出来事も全て1から作った創作ということになるが、それもまた難しい話なのではないか」と反論した。

次に、聖徳太子が日本の歴史上でどのように捉えられていたかという話題に移った。これについて、まず木村さんが中世における聖徳太子の捉え方について「仏教の伝道者のイメージが強かったため、観音様と同一視され、彼の建立した四天王寺は寺院としての影響力は大きくなかったものの、仏教始まりの地として大切にされていた」と話し、また「天台宗を創始した最澄も聖徳太子を厚く信仰していた」と語った。

その後天皇中心の考えのもと、聖徳太子は模範的な人物として捉えられるようになる。これには十七条憲法の三条にある「詔を承りては必ず謹め、君は則ち天たり、臣は則ち地たり」の部分が高く関われていると齋藤さんは指摘した。

そして終戦後、今度は一条の「和を以て貴しと為す」の部分があるに、戦前とは違った形で素晴らしい人物として捉えられるようになった。このように時代が変わることによって、聖徳太子に対する捉え方も変わり様々な場面に影響を与えていたのだと齋藤さんは解説した。

聖徳太子については文献史料も少なく、その信憑性も低いとされている。この点について江口さんは「日本書紀などに代表される文献史料の信憑性が高くなるのは、天智天皇以後であり、推測で分析していく部分が増えるため、先述の大山氏のように存在を否定する説も多い」とした上で、高山さんは「一方で、いたと考える方が理にかなっている。昔からそう信じてきた私たちとしては存在していたと思いたい」と話した。また、河田政孝(文・4)さんは「仮に聖徳太子という人物がいなかったとしても、モデルとなる人物は確実にいたはずでそれが厩戸皇子なのではないか」と話した。





「教場」長岡 弘樹

今回紹介するのは、長岡弘樹作の「教場」だ。舞台は警察学校。そこで練り上げられる、普段私たちが知ることでできない警察の裏側の様子が描かれている。

つき腕立て伏せ20回、どんなに些細でも嘘をついた者は一日中正座など、重い罰則が与えられる。こうして日々のストレスを抱えた警察官の見習い同士間で、次第に陰湿な嫌がらせが起きはじめる。ある女性見習い警察官は、身に覚えもなく執拗に辞任を脅迫する手紙を送りつけられていた。そんな中、謎の主人公である教官風間はさりげなく犯人を精神的に追い詰めていき

清く正しいヒーローのように思われる警察官。しかし、その胸の内にある嫉妬や憎悪などの人間らしいリアルな感情と、彼らの正義との葛藤が描かれており、私たちのイメージする警察官像が覆される。昨年本屋大賞にノミネートされ、警察小説に定評がある横山秀夫氏も絶賛しているこの作品。短編で読みやすいのは是非一度手に取り、警察学校の毎日を覗いてみてはどうだろうか。

関学ヒストリア

「ランバス記念礼拝堂」

晴れの日も雨の日も

今回は、西宮上ヶ原キャンパスの正門を入って右手側に位置する、ランバス記念礼拝堂について紹介したい。ランバス記念礼拝堂は、1959年に、関西学院創立

70周年の記念事業の一つとして建設された。現在、キリスト教音楽のコンサートや関学生の憧れであるキャンパス・ウェディングなどで使用されているランバス記念礼拝堂だが、授業期間中の金曜日の朝に行われる「早天祈禱会」が、最もこの礼拝堂らしい使い方ではないかと宗教センターの竹林隆之さんは語る。

取材時に写真を撮るにあたって、竹林さんは「また別の日にも写真を撮りに来て構いませんよ。晴れの日も雨の日も、どんなときでもランバス記念礼拝堂は美しいですから」と話した。

教授の背中

丸楠 恭一

国際学部 教授



今回は国際学部の教授、丸楠恭一先生に取材を行った。先生の研究対象は政治学と社会学の境界である。現代社会の発展とともにSNSやTwitterといったメディアが変化を遂げており、様々な媒体を通して様々な人が意見発信出来るようになった。それらから発信される世論に政治が影響される時代になっているという点から、メディアと政治の関係性について考察している。その際に重視していることは、現代に起きている事柄を歴史的座標軸の中で捉えることだそう。

また、日本を拠点として研究することに強いこだわりを持っている。それも、特定の学問分野のツールを用いて日本を研究対象にするのではなく、言うならば「地域研究としての日本研究」という感覚を重視し、そのための基本的なものの見方を研究している。

そのような研究を志した原点は先生自身の「苗字」にあるそう。先生は幼いころから丸楠という日本人離れた苗字をしばしば「外国人みたい」と周りから言われたという。その中から日本社会に対する「他者的感覚」を覚え、社会科学を志すきっかけとなった。先生の学生時代は東京大学に通い国際関係学と計量政治学を専攻していた。大学卒業後は自分の研究対象にするもの

終わりになき学び

メッセージが持てなかった。そのため、大学院に進まず、民間の研究所に勤め、東南アジアやヨーロッパなどを旅した。数年間様々な研究に携わる中で研究対象の実感を得た後に、アメリカの大学院へ進学をした。大学院進学時日本はバブル経済で世界が注目される存在だったため、日本のことについて尋ねられる事が多かった。それに応えるために、日本にあまりない日本語の文献を読みあさるといふ不思議な大学院生活をすごしたという。しかし、そのおかげで日本人でありながら日本に対する包括的な理解ができていないことに気づき、それが現在の日本を研究対象とすることへのこだわりにつながっている。

国際学部の学生たちは決まって「丸楠先生の授業の内容は難しく大変だが、面白いしやりがいがある」と評している。丸楠先生はただ事柄を並べるだけでなく、高校時代に断片的に得ていた知識との関連性を持たせながら講義するように心がけていて、面白いという感覚を大切にしているからではないかと考察した。先生は「学生たちは感性に語りかけてくるものを一つ見つけて、それに感動することが大切である。また情報化が進み、世の中の流れが速くなる中で、あえてゆっくり歩いてみてほしい。そして、そのことを恐れなくてほしい」と話す。

まるくす きょういち

- 1982年 東京大学教養学部 卒業
- 1988年 プリンストン大学大学院 修了
- 三菱総合研究所、ブリティッシュ・コロンビア大学国際関係研究所、目白大学、ジョンズ・ホプキンス大学大学院ライシャワー・センター等経験
- 2010年 関西学院大学国際学部 教授

ランバス記念礼拝堂 年表

- 1959年 関西学院創立70周年記念事業の一つとして建設
- 同年11月1日 献堂式が行われる
- 一当時82歳のC.J.L.ベーツ第4代院長も出席
- 1961年 在米の元学院宣教師たちの募金活動により、アメリカ・シュリッカー社製パイプオルガン設置
- 1982年 老朽化により、現在のドイツ・オーバーリンガー社製のパイプオルガンに置き換え

早天祈禱会は、静かな礼拝の場で、院長や学長をはじめ本学の教職員の話聞くことができる。もちろん学生も参加が可能なので、ぜひ一度参加してみてくださいとうだろうか。



ところで、皆さんはランバス記念礼拝堂の扉には碇の紋様が施されていることにお気づきだろうか。礼拝堂は、私たちが荒波から守ってくれる船にしばしば例えられるそうだ。



K.G. studio

今回のK.G.studioは、K.G.Workerと部室
だよりです。K.G.Workerでは、本学の職員
ではなく、関西学院同窓会の西馬一平さんに、
部室だよりでは、自由でクリエイティブな感
性が光る写真部の方にお話を伺いました。

写真部

部員数：約65人
創部年：1932年
活動日：不定期
部室：新学生会館3F
連絡先：部活アドレス
fotoclub.kg@gmail.com

部室だより

vol.10

写真部



文化総部写真部の部長、豊村
愛里さん(社・3)に話を聞い
た。

新聞総部(以下、新)写真部は具体的などのような活動を行っていきませんか?

豊村さん(以下、豊)部員それぞれが、撮りたいときに撮りたい場所で写真を撮ります。年に4〜5回の写真展のときには、みんなで部室に集まって準備をします。

新写真展ではどのような写真が展示されるのですか? コンセプトなどはありますか?

豊「特にコンセプトはないです。基本は自由に個人が撮りたい作品を撮るといった感じですが、方向性を統一した写真展もやってみようと思います。新写真展はどこで行われるのですか?」

新「やはりテクニクは必要ですか?」

豊「テクニクというより、コツミたいものがあると思います。シャッタースピードや光の量、しぼり具合などを考えて撮ります。納得いく作品を撮るのは大変ですが、達成感は大いだと思います。」

新「写真を撮る際、ほかに気を付けていることはありますか?」

豊「同じような作品ばかりにならないようにすることです。雰囲気は被らないように気をつけています。」

新「撮る人によって作品の雰囲気などは変わるものですか?」

豊「変わりますね。その人の個性や、その作品を撮ったときの感情が反映されます。被写体や色の雰囲気、大体誰が撮ったのかわかりますよ。」

新「これまでに撮った写真の中で、自分の感情が上手く表現できたと思う写真を教えてください。」

豊「写真に出す作品が、締切り間近になっても納得のいくものにならず、焦りと不安が押し寄せてきました。その時に、今の感情を表現してみようと思ひ、りんごの卵と

新「写真を撮る際、ほかに気を付けていることはありますか?」

豊「同じような作品ばかりにならないようにすることです。雰囲気は被らないように気をつけています。」

新「撮る人によって作品の雰囲気などは変わるものですか?」

豊「変わりますね。その人の個性や、その作品を撮ったときの感情が反映されます。被写体や色の雰囲気、大体誰が撮ったのかわかりますよ。」

新「これまでに撮った写真の中で、自分の感情が上手く表現できたと思う写真を教えてください。」

豊「写真に出す作品が、締切り間近になっても納得のいくものにならず、焦りと不安が押し寄せてきました。その時に、今の感情を表現してみようと思ひ、りんごの卵と

K.G. Worker

#9

関西学院同窓会事務局主任

西馬一平さん

今回は関西学院同窓会事務局主任の西馬一平さんに話を聞いた。西馬さんは5月31日にユニバーサル・スタジオ・ジャパンで開催された関西学院同窓会主催「オール関西学院フェスティバル」の企画に携わった。このイベントは関西学院の卒業生だけでなく、現役生や卒業生とその家族、教職員も対象となっており、本学に関わる全ての人々が一緒に集まって125周年を盛大に祝おうというものであった。西馬さんは開催地にユニバーサル・スタジオ・ジャパンを選んだことについて「同

窓会の次世代を担う若者にも同窓会主催のイベントに参加してもらおうことによって、同窓会への関心を高めるきっかけとなつて欲しい」と語った。結果的に約16000人

の参加者の内、約70%が平成元年以降の卒業生という状況となった。

当日は、4つのスペシャルイベントが行われた。1つ目は、人気アトラクション、ターミネーター2の3Dがオリジナル演出に変わるというものであった。例えば、エンターテイナーが本学にまつわるクイズを出題したり、校歌である「空の翼」を熱唱したりして、観客を楽しませた。

2つ目は、関西学院創立125周年記念ムービーの上映である。卒業生はロンバーズ・ランディング2階に集まり、125周年記念ムービー(関西学院広報室制作)を観ながら思い出話を花を咲かせ

ていた。



新「写真を撮る際、ほかに気を付けていることはありますか?」

豊「同じような作品ばかりにならないようにすることです。雰囲気は被らないように気をつけています。」

新「撮る人によって作品の雰囲気などは変わるものですか?」

豊「変わりますね。その人の個性や、その作品を撮ったときの感情が反映されます。被写体や色の雰囲気、大体誰が撮ったのかわかりますよ。」

新「これまでに撮った写真の中で、自分の感情が上手く表現できたと思う写真を教えてください。」

豊「写真に出す作品が、締切り間近になっても納得のいくものにならず、焦りと不安が押し寄せてきました。その時に、今の感情を表現してみようと思ひ、りんごの卵と

新「写真を撮る際、ほかに気を付けていることはありますか?」

豊「同じような作品ばかりにならないようにすることです。雰囲気は被らないように気をつけています。」

新「撮る人によって作品の雰囲気などは変わるものですか?」

豊「変わりますね。その人の個性や、その作品を撮ったときの感情が反映されます。被写体や色の雰囲気、大体誰が撮ったのかわかりますよ。」



豊村愛里さん(社・3)

文芸部 読み切り小説 『刹那(一)』

馬場 広大

右脚と左手を包帯で縛られた鳥丸と、市原、ナイフの男。そして二人のヤクザが、重い扉を押して倉庫に立ち入ると、中では多くの電球で照らされており、男が二人いた。「こんばんは。遅れてすみません」鳥丸を除く男たちは慇懃無礼に頭を下げて挨拶をした。二人の男はどちらも太っていた。そのうちの一人、日本刀を持った男が「いやいや、そうへりくだることはない。どうも、松山です」と言い、「さっそく始めようじゃないか」その声で鳥丸は市原に背中を押され、上手くバランスを取れないまま中央に立たされた。もう一人の方の太った男が、鳥丸の横に立った。二人は対照的に見えた。一人は怪我を負った若い男で一人は年を取って腹が出てきた男。「彼の名前は長谷川だ。ギャンブルの内容は聞いてるか?」太った男が鳥丸に訊いた。鳥丸が首を振ると、「まあ簡単だからすぐにわかるさ」と松山は笑った。「おい、出てこい!」すると奥の扉から裸の女が二人出てきた。どちらも豊満なバスト、ほどよく肉のついたくびれ、形のいい尻を持っていた。陰毛は綺麗に手入れされていた。鳥丸は、何が始まるのかまったく見当をつけられなかった。二人の女が中国語で会話をしているのを聞いて、日本人ではないということだけがわかった。「今からやるのは(射精我慢ゲーム)だ」松山が笑いながら言った。「ここでお前には二人とも裸になつてもらおう。そしてこの女たちの愛撫で先に射精してしまった方の負けだ。簡単だろう」鳥丸は自分を連れてきた四人を見回した。誰もがみなにやにやとした笑いを浮かべていた。「さあ、裸になれ」松山に言われるがまま、鳥丸と長谷川は服を脱いだ。服を拾いに来たナイフの男がささやいた。「痛みは性欲を激減させる」そう言ってナイフをちらつかせたが、鳥丸はこぼれた顔で首を振るだけだった。長谷川はすでに裸になって、女の一人を横に立たせていた。鳥丸も裸になると、もう一人の女が寄ってきた。「それじゃ始めようか。ゲームスタート」松山が言うと同時に、鳥丸の女は舌を絡ませてきた。いきなり口づけをされた鳥丸だったが、右脚と小指の痛みに耐えるので精いっぱいだった。女の左手でペニスをしごかれながら、自分がどうしようもない境地まで来ていることに気づいた。一方、長谷川は女にペニスをくわえられていたが、表情に変化が見られなかった。鳥丸が長谷川のほうを見てみると、松山が笑った。「こっちは筋金入りのゲイを用意したからね! 女には不感症なんだよ」長谷川は頭をぼりぼりと掻いた。これでは俺に勝ち目がないじゃないか、そう思った鳥丸は市原を見たが、市原は平然とした表情でいた。鳥丸のペニスはすでに勃起していた。女の愛撫は最上級に上手く、射精するまで数分もかからないだろうと鳥丸は思った。



お悩み相談室



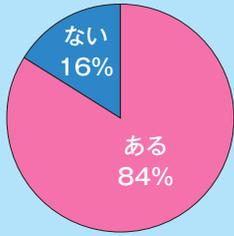
答えるのはこの人

独断と偏見で物事をナメに斬ることでは有名。

今回は関学生100人についてのアンケートを行った。そして恋愛・勉強・生活・就活・人間関係の5項目に分類し、その中から独自に選んだいくつかの悩みについて少々辛口に答えていく。これはあくまでも一個人の見解であることを念頭においていただきたい。

Q. お悩みはありますか？

種類別ランキング



- 1 就活
- 2 勉強
- 3 生活

勉強

単位を取ることを重視して、勉強するのはいいが、単位を取るだけで結局学んだことは全く身につけていないのではないかと悩む学生は多い（経・1・男）

まず何のために大学に入ったかを思い出して下さい。身につくかどうかはあなた次第だと思います。単位をとるためにはレポートや期末のために勉強しますよね？その学習を精一杯やりきったら身につけているものだと思います。その時真剣に取り組んだならどこかで役に立つはず。単位数と時間割の都合だけで選んだ教科でも結構自分が興味あるものに出会ったりしますよ。まずはしっかりと履修しているものを全力でやっってください、それでも全く身につかなかったのならそれはあなたに合っていないのでしょう。

大学は自分の学びたいことを選べる環境ですから一つでも極めたいと思えるものを見つけたらそんなことは気にする必要はないと思います。とりあえず今あるものを頑張ってみてください！



恋愛

自分が可愛すぎて困ります。モテすぎて周りから嫉妬されて辛いです。どうしたらいいですか？（文・2・女）

自分が可愛すぎて困る…本当に困っていますか？周りからの嫉妬に優越感に浸ったりしていませんか？どのように嫉妬されているかで変わってきますけど、自分が可愛いことを自覚しているなら嫉妬されるのも想定内と考えたらいいかなと思います。



好きな人が出来ない（社・2・男）

無理に作ろうとしなくていいと思います。出来なくたって、いつかはできます！

就活

こんな私が社会人になれるのかどうかについて悩みすぎて、お昼寝もできない状態です（教・2・女）



社会人になったらお昼寝する時間もなさそうですが、その点は考えませんでしたか？社会人になって仕事に真面目に打ち込んでいけば自然と社会人になれますよ。そんなに心配なら資格でもチャレンジしたらいいのでは。お昼寝の時間を勉強に当ててみるのをおすすめします。

人間関係

悩みを相談できるほど信用できる人がいない（社・2・男）



あなたに悩みを相談してくれる人にあなたの悩みを打ち明けたらどうですか。一度信用しようとしてみないと一生そのままだと思います。

生活

朝に弱いのをどうにかしたいのですが自分に打ち勝てず寝坊してしまいます（社・1・男）



あなたのメンタルが弱いだけではないでしょうか？打ち勝てずなんてカッコいい表現ですけど実際ただ寝坊しているだけですよね？授業に遅れず出席しようという気持ちがないのではないですか。こんな調子で社会人になったら大変ですから、大学生のうち自分に打ち勝つ自分を手に入れてください。

関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

● 取得できる車種 ●

- 大型車・中型車・普通車(AT/MT)・
- 大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



兵庫県公安委員会指定

三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995
E-mail:sanda-as@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード